

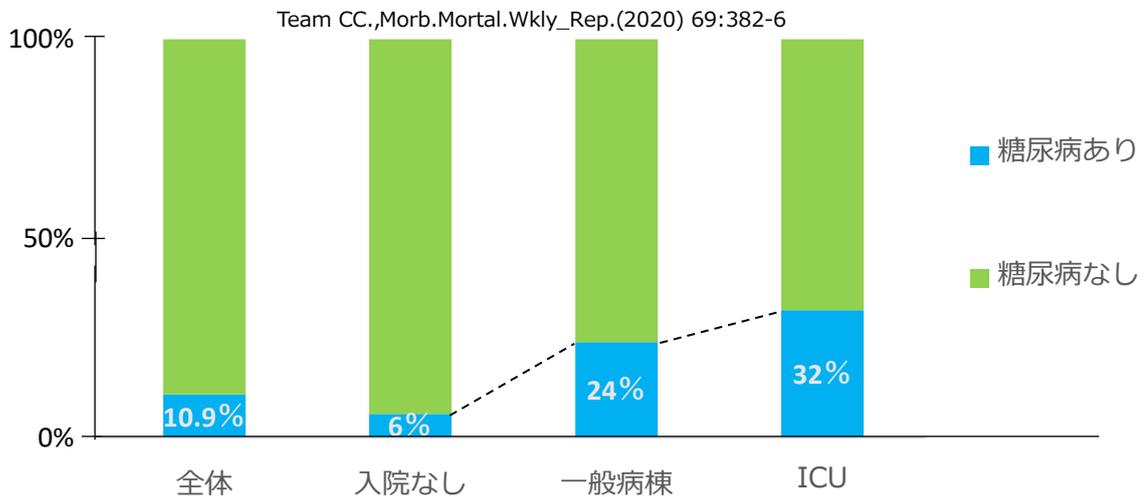
糖尿病の患者さんへ

—新型コロナウイルス感染症とともに生きるために—

現在、世界中で新型コロナウイルス（COVID-19、以降「コロナ」と表記）感染症が猛威を振るっています。糖尿病とコロナの関係について、心配している方も多くいらっしゃると思います。そこで、糖尿病の患者さんがコロナとともに生きていくために重要なことをお伝えします。

1 糖尿病があるとコロナの重症化リスクが高くなります。

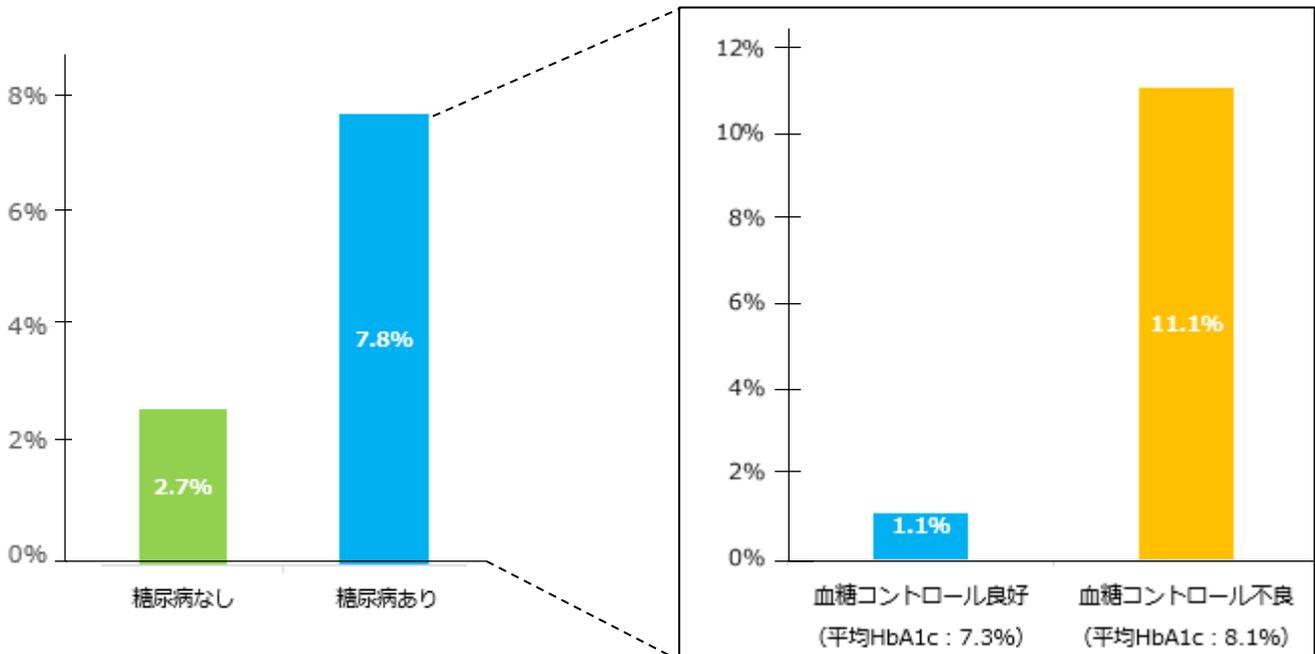
2020年2月12日から3月28日の米国コロナ患者7,162名における糖尿病患者の割合



2 重症化しないためには普段の血糖コントロールが重要です。

中国のコロナ患者7,337人における死亡率

Zhu et al.,Cell Metabolism(2020)31:1-10



3 医師の指示通りに内服薬や注射薬（インスリンなど）を使用

しましょう。

血糖コントロールが悪くなっても、多くの場合は自覚症状がありません。自身の判断で内服薬や注射薬を減量したり中止したりすると、知らず知らずのうちに血糖コントロールが悪くなっていることに気づかない可能性があります。ただし、体調の悪いとき（シックデイ）は医師の指示に従って内服薬や注射薬の変更をする必要があります。

4 医師の指示通りに通院をしましょう。

当センターは感染症対策実施医療機関です。安心して受診していただけます。外来予約のある方は、予約日前日までに当センターからの連絡がない限り、通常通り診察にお越しください。

No. 1000928



感染症対策実施 医療機関

日本医師会
認定医療機関

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリスト®に沿った
対策を実施しております。

日本医師会
Japan Medical Association

※協力：厚生労働省

日本赤十字社医療センター



院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- 職員に対して、サージカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策（遮蔽物の設置等）を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

日本医師会
Japan Medical Association

※協力：厚生労働省